

# デジ教研議論

R68

再生回数が多い  
デジタル教科書用の動画

デジーです。よろしくね！



(c)hayashi emiko

みんなのデジタル教科書教育研究会  
Facebookグループ

【質問】再生回数が多いデジタル教科書用の動画をご存知でしたらお教えてください。

★投稿(投稿者=A)

【質問】再生回数が多いデジタル教科書用の動画をご存知でしたらお教えてください。

e-learningの世界では、動画全盛です。デジタル教科書でも動画を使うのはメリットの一つだと思います。動画で再生回数が多いものや、実際によく授業で使うものがあったら教えてください。デジタル教科書ではないですが、アブラゼミのウロウロ君は、結構いいかなと思ったりします。サイエンスチャンネルなど公開されている動画も結構あります。たまに使ったりするという動画のポータルサイトなどもありましたらお教えてください。

<http://sc-smn.jst.go.jp/playprg/index/5983>

投稿日時：2013年3月25日 9:46

<http://www.facebook.com/groups/dkyof/permalink/516854921690079/>

★サマリー編集：Asami Kataoka（片岡麻実）、Junko Azuma

★議論

B NHKデジタルアーカイブスより <http://www.nhk.or.jp/archives/web/#education>

(編集者注：NHKデジタルアーカイブスの画面下部にある「教育活用ガイド」「教育実践映像」を参照。)

いいね！・2

C 学校からだ、動画ポータルサイトがフィルタリングで使えないことも多いですね。(編集者注：フィルタリングは一般的には有害サイトを見られないようにアクセス制限をかけることを指す。一定の基準を設けて情報の選別を行い、基準に満たないものを排除することを情報の「フィルタリング」と呼ぶ。)

いいね！・1

A Bさん NHKのコンテンツ紹介ありがとうございました。NHKに限定して、ですが、使われている方いらっしゃるのでしょうか。

D 半分宣伝ですが、現在開発・運用しているeboardには、1000本以上の学習動画を制作、掲載しています。<http://www.eboard.jp/>

ほとんどが個別学習用ですが、海外の翻訳動画は授業の導入や動機づけなどに、使えるものも多いと思います。

TEDEducationの動画：<http://www.eboard.jp/search/9/13/>

A Dさん コメントありがとうございます。一番再生回数が多いとか人気とか、評価されて

いるのはどれでしょう。おすすめというのがあったら教えてください。

**D** eboard制作のもので大人の方にも人気なのは、日本史のシリーズですね。このモンゴル帝国と元寇の話は、よく見られていてYouTube上での評価も高いです。

▼元寇と幕府の衰退 | eboardの動画で学ぼう

<http://www.eboard.jp/courses/259/1/>

学校で見せる教材としてだと、以下の動画のクオリティはNHK以上のレベルだと思います。

▼謎に満ちたプランクトンの生態

<http://www.eboard.jp/video/1344/>

**A** このあたりですね。

▼応仁の乱と戦国統治 | eboardの動画で学ぼう

<http://www.eboard.jp/courses/271/5/>

**D** そうですね、それが日本史では、最新の分になります。

**A** 個人的には、戦後史がほしいところです。ゼミの先生が慰安婦問題だったので、「敗北を抱きしめて」とか読んでいます。

▼『敗北を抱きしめて 上 増補版—第二次大戦後の日本人』（岩波書店）

<http://www.iwanami.co.jp/BOOKS/02/5/024420+.html>

**D** しぶいですねー。戦後史は、たしかに軽視されがちなところがあると思います。週に7、8本のペースで日本史の動画をあげているので、いずれ着手します。ちよくちよくチェックして頂けると、嬉しいです。

**A** 気になるで、ちょっと質問です。文科省の教科書とかと連動しているのでしょうか？ 9分というのは、良い長さなのでしょうか？

**D** 日本史は、高校の教科書や参考書をベースにして、作成しています。レベルとしては、センター試験には少しならず 高卒認定には足る程度だと思います。「暗記」よりも「理解」「関心」にフォーカスして、作成しています。

**A** なるほど、ただ、これをつくるのでも手間かかりますね。Dさんが話しているのですか？

**D** Khan Academy以来、アメリカでは学習動画は、15分未満が当たり前になっていますね。探せば、学術的な研究もあるかもしれません。算数の動画などは、3分程度のものが増えてきています。はい

、私が作っています。手間をかけるべきところには、かけていきます。（編集者注：カーンアカデミーは、2006年にサルマン・カーンによって設立された非営利の教育ウェブサイト。英語の動画を見ることで、在宅でも数学から人文科学まで、さまざまな教科を学ぶことができる。公式サイトは、<https://www.khanacademy.org/>）

**A** とにかくどんどんつくるのがいいですね。

**D** はい、網羅性が信頼性につながっていると思います。たまに見て頂いたり、広めて頂けると嬉しいです。

いいね！ ・ 1

**A** はい、まずは、数学の部分をちょっと見ておきます。ヤフーのリアルタイム検索でもそこそこできていますね

▼「eboard」の検索結果 - Yahoo!検索（リアルタイム）

[http://realtime.search.yahoo.co.jp/search?tt=c&ei=UTF-8&fr=sfp\\_as&aq=-1&oq&p=eboard&meta=vc%3D](http://realtime.search.yahoo.co.jp/search?tt=c&ei=UTF-8&fr=sfp_as&aq=-1&oq&p=eboard&meta=vc%3D)

いいね！ ・ 1

**D** リアルタイム検索って、Facebook拾えるんですね。知らなかった。勉強になりました！

**A** 公開しているのだけですけど、モーニングサテライト（テレビ東京）で、カーン・アカデミーがとりあげられていました。すでに、教室でも使われているんですね。eboardは、授業で活用されている事例はあるのでしょうか？日経流通新聞でも、とりあげられていますね。

▼公立小中でもネット学習（米国発）2013/01/23 日経MJ（流通新聞）

「日本の小学校から高校に相当する学年の数学や理科、歴史などの授業を1回約10分のビデオにまとめてオンライン配信している。」

**A** カーン・アカデミーは日本語訳がないんですね。。。。

<http://www.khanacademy.org/contribute#translation> でみるとないのですが、ニコ動で公開されています。<https://sites.google.com/site/khanacademyjapan/>（編集者注：ニコ動とは動画投稿サイトのニコニコ動画を指す。）

**D** 現在大阪の学習塾で、試験的に「反転授業」を実施させて頂いています。ニコ動の方は、ずいぶん前から更新されてなかったと思います。今はこちらに、吹きかえを上げられている方がいます。

<https://www.youtube.com/user/KhanAcademyJapanese>

いいね！ ・ 1

**A** さっそくありがとうございます。数学等のコンテンツは、カーンの日本語化をして、日本独自の歴

史にしぼってコンテンツづくりするのもいいかもしれませんね。カーンについて、実際に利用されている方いらっしゃったらお願いします。はずかしい話ですが、私は今知りました。

**D** 少なくとも中学までは、全て日本語でしないと難しいです。大人からすると普通ですが、字幕をおえない子がたくさん、画面に英語がでるだけで、拒否する子もいます。eboardは、うまく日本の学習環境と海外のをつなげればと思っています。海外におられる日本人の方は、よく利用されているようですね。

いいね！ ・ 1

**A** なるほど、実践されている方の意見は貴重です。カーンさんはいまでも自分でコンテンツつくられているので、すごいですね。Dさん、自分で教材づくりやっているのは根性はいっていますね。

いいね！ ・ 1

2013年4月1日 14:03 終了

デジ教研議論～再生回数が多いデジタル教科書用の動画～

<http://p.booklog.jp/book/77745/>

著者 : digikyoken (「みんなのデジタル教科書教育研究会」facebookグループ)

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/digikyoken/profile>



クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77745>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77745>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブックログ